

人権意識の高揚と
人権が尊重される社会の
実現をめざして

じんけん

2023年（令和5年）7月発行
日出町人権教育啓発推進協議会

8月は「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」です

1965（昭和40）年8月、同和問題の「早急な解決こそ国の責務であり、同時に国民的課題である」とする同和对策審議会答申が出されました。大分県では、国の同和对策審議会答申が出された8月を「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」として差別解消のための取り組みをしています。日出町においても、この運動月間中、講演会などさまざまな人権問題に関する理解を深めていただくための啓発活動の取り組みを行っています。誰もが自分らしく幸せに暮らしていける社会の実現に向けて、まずは「私」自身が差別をなくすために行動してみませんか。

広く浅く～人権クイズ

〇か×で考えてください

〇ちょっとだけ多文化

問題 ウコチャランケとはアイヌ語で「戦う」ということである

【資料1】

話し合いこそ武器

かつてアイヌ民族出身の国会議員としてアイヌ語辞典の作成や資料館設立に尽力、1973年頃より著作活動をさかんに行い、亡くなるまで多数の著書を残された萱野茂（かやの しげる）さんは、ウコチャランケをこう説明しています。

「〈ウ〉お互い〈コ〉目的に向かって〈チャ〉言葉を〈ランケ〉下ろし並べる。

話し合いで良しあしの判断をつけましょう、という精神だ。人間の言葉は猛毒を塗った矢や鋭利な刀より強いもの、射ち合い斬り合いをする前に、話し合いこそ武器、と子どもに教える。」

【資料2】

身近なアイヌ語

私たちが日常の生活の中で使っているアイヌ語には・・・
コンブ・・・昆布

ラッコ・・・鯨やイルカ、アシカ、アザラシなど海に棲む哺乳類の中で一番小さいラッコを「海のカワウソ」と呼ぶアイヌ語に由来

シシャモ・・・アイヌ語の「スサム」を借用したもの

答え × 「話し合いで決める」ことです。

「アイヌ」とは「人間・ひと」を表します。アイヌ語では、「アイヌ・ネノ・アン・アイヌ」＝人間らしい人間 という使い方をします。



〇女性とじんけん

問題 国際社会が求める国の代表者の男女比率は5：5であるが、日本の衆議院議員の男女比率は7：3である。

【資料】

世界経済フォーラムが2023年7月、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数を発表しました。この指数は「経済」「教育」「健康」「政治」の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示しています。

日本は0.647となり、146ヶ国中125位となりました。「教育」と「健康」はトップクラスですが、「政治」と「経済」の値が低いです。

- ・健康（0.973）～出生児性比、健康寿命の男女比～分野別（59位）
- ・教育（0.997）～識字率の男女比、初等教育就学率の男女比、中等教育就学率の男女比、高等教育就学率の男女比～分野別（47位）
- ・経済参画（0.561）～労働参加率の男女比、同一労働における賃金の男女格差、推定勤労所得の男女比、管理的職業従事者の男女比、専門・技術者の男女比～分野別（123位）
- ・政治参画（0.057）～国会議員の男女比、閣僚の男女比、最近50年における行政府の長の在任年数の男女比～分野別（138位）

●国会議員に占める女性議員の割合
衆議院：10.3%（2023, 5, 20 現在）
参議院：26.6%（2023, 6, 12 現在）
合計：16.0%

●地方議会に占める女性議員の割合
都道府県議会：11.8%（2022, 12, 31 現在）
市区町村議会：15.9%（2022, 12, 31 現在）
合計：15.6%

答え × 日本の衆議院議員の男女比率は9：1です。

インターネットと 悪口について

大神小学校 6年

小石 真理奈 さん

学校で、インターネットに個人情報や相手を悪く言う書きこみをしたことが、人をとても苦しめてしまったという動画を見ました。

私はそれを見たとき、悪いのは悪口を言ったり、ネットに書いたりする人たちだけ、それを広めるのも同じくらい悪いと思いました。

私が悪口を言われたり書かれた立場だった場合、すごく悲しいです。だから、悪口を言った人に直接言い返すかもしれません。その時は怒って私も相手を傷つける言葉を使うと思います。悪口を悪口で返してはいけないとわかっていてもみんなしてしまうからいじめがおきるのだと思いました。私も、日ごろから怒ってやり返すことが多いので、言葉づかいに気をつけるようにしたいです。

インターネットでは、嫌なことをされたやり返しなどではなく、自分から人を傷つける言葉を書きこむ人がいます。でも、書きこまれた人が、どんな悪いことをしていても、悪口を書きこんでいい理由にはならないと思いました。悪いことをした人に向かって悪口を書きこんだら自分も悪い人になるし、何も悪いことをしていない人を傷つけるのはなおさら悪いです。書きこまれた人が悲しくなって書きこんだ人にやり返したら、連鎖が起こります。

私もどこかで知らない間にだれかを傷つけているのかもしれません。インターネットでもふだんの生活でも相手を傷つけないように心がけようと思いました。



今後の日出町人権講座

人権は誰もが幸せに過ごす権利です。相手を尊重して、どうすれば誰もが幸せに過ごすことができるかを考えることが大切です。いろんな考え方に触れて、人権を考えるきっかけになるように、日出町は定期的に人権講座を開催しています。いろいろな角度（切り口）から人権の話をきくことができます。たくさんの方のご参加をお待ちしています。入場は無料です。

◆ 差別をなくす人権講演会（兼日出町人権講座②）

日時：8月23日（水）13：30～15：30

場所：日出町中央公民館 ホール

講師：山末 由紀 さん（宇佐市社会教育指導員）

演題：「部落差別の現状から」

～学習をとおして学ぶ～

内容：部落差別の解消に向けて

◆ 日出町人権講座③

日時：10月13日（金）19：00～20：30

場所：日出町中央公民館ホール

講師：津田 憲吾 さん

（複合スペース marble 作業療法士）

内容：子どもの人権/障がい者の人権

◆ 日出町人権講座④

日時：11月21日（火）19：00～20：30

場所：日出町中央公民館ホール

講師：豆塚 エリ さん

（詩人・車いすユーザー）

内容：障がい者の人権 ほか

◆ 日出町人権フェスティバル（兼日出町人権講座⑤）

日時：12月2日（土）10：15～11：40（予定）

場所：日出町中央公民館ホール

講師：海原 みどり さん（予定）

（元 OBS アナウンサー）

内容：検討中です

人権フェスティバルでは、小中学生・高校生の人権作品の表彰や展示もおこないます。また交流広場 HiCaLi や町立図書館などでも、人権に関連するイベントを行います。